

○自治会へ原子力防災学習の取り組み状況について

(平成 26 年 12 月 1 日現在)

1. 使用教材：DVD「原子力防災の備え」 62 分
 ～我々は何を知り、何を考え、何をすべきか～
 兵庫医科大学放射線科教授 上紺屋 憲彦 先生
 ※ 7 月 10 日 篠山市自治会長会理事を対象に講演
2. 実施方法：上記教材を使用して職員研修を実施し、住民学習担当職員により各自治会で学習会を実施する。
3. 開催状況：

全自治会数	2 6 1 自治会
実施済み自治会数	8 4 自治会
実施予定自治会	7 5 自治会
実施済み・予定計	1 5 9 自治会 (6 0 %)
4. 自治会からの主な意見：
 - ・非常に関心が高く、熱心に DVD 鑑賞できた。新しい知識が身についた。更に当問題は、深く勉強する必要があると思われた。
 - ・安定ヨウ素剤の備蓄が早くからされている市により、関心が強くなった。篠山市に原発事故があれば、国際基準値を超える放射能が降ることが分かった。
 - ・参加者が少なかったのは残念だが、地域の防災意識を持つよい機会になりました。
 - ・危機感を持っている人が少ないためか、参加者が少なかった。しかし、DVDの内容は見ておいてよかったと思えたので、いろいろな場所で機会があれば学習会を開いたら良いと感じました。
 - ・その他の災害時においても避難方法・手段について各個人が考える良い機会であった。
 - ・事故の情報伝達や避難方法などの計画を早く決めて市民に伝えてほしい。
 - ・命が助かったとしても、農業がダメになるのではないか。
 - ・関西電力で安定ヨウ素剤の費用を負担すべきである。
 - ・避難訓練の実施や避難の方法を早く決めるべき。
 - ・大事な内容なのでもっと啓発するべきである。
 - ・高齢者などの車がない人などの避難を考えるべきである。
 - ・猿や鹿やペットなどの動物も被ばくするのか。